

はちろうがた

2008年1月 94号

議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

TEL 018-875-5810

「八郎湖に係る湖沼水質保全計画(案)」 住民説明会

とき:

19年12月17日(月)

ところ:

八郎潟町農村環境
改善センター



説明者：県八郎湖環境対策室長



迎春

- ◆ 2ページ …… 新年のごあいさつ
- ◆ 3～5ページ …… 一般質問
- ◆ 6ページ …… 委員会審議
- ◆ 7ページ …… 水質改善意見書を提出
- ◆ 8ページ …… 請願・陳情/議会のうごき



新年のごあいさつ

八郎潟町議会議長

小柳 勉

あけましておめでとうございます。

新たな希望、夢描く新年を迎えご同慶に存じます。

昨年本町で開催された秋田わか杉国体、ウエイトリフティング競技は、町民の皆様の積極的なご協力のおかげで、盛会裡に終了でき町民の温かいまごころを全国に発信することができました。

三笠宮寛仁親王殿下第二女瑤子女王殿下を本町にお迎えできたことも喜ばしいことでもあります。

”人・環境・文化のきらめく八郎潟“の理念を掲げる「町総合振興第五次基本構想」に基づく町づくり計画も三年目を迎え、「実施計画」は、毎年点検して対応策を講ずる見直しが必要であり、議会として、町当局と切磋琢磨し、政策提言が大切です。

基幹産業の農業に活力を与え、元氣のある産業に再生し、商工業の活性化をはかり、福祉を充実させるため、町財政は厳しいが知恵をだし合っ、夢のある町づくりを進めることが大切であります。

町議会は、諸課題解決のため、精一杯の努力を傾注して参りましたが、今後とも町民の皆様の声を真摯に受けとめ、施策の充実に努力して参ります。

”ネズミは、福の神である大国主(大黒天)の使者“ともいわれます。

新しい年が、五穀豊穡の福をもたららし、皆様にとりまして飛躍の年になりますよう、お祈りいたします。

議長

小柳 勉

副議長

小野 廣

議員

菊地 勝 仕

畠山 菊 夫

伊藤 秋 雄

金 一 義

斉藤 徹 郎

村井 剛

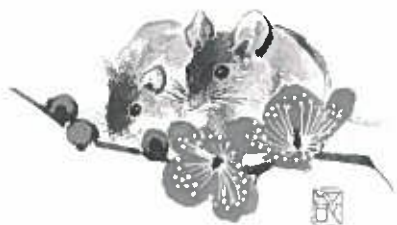
三戸 留 吉

土橋 吉 晴

近藤 美喜雄

佐藤 長

明けまして
おめでとう
ございます



一般質問



近藤美喜雄 議員

米価の下落とそこに起因するもの、今後の町の対策について

問 今年の米価のゆくえが米作農家を震撼させた。国は19年度から米の需給調整を農業団体や米集荷業者など生産調整方針を定める者に委ねることとし進めてきた。しかし参加する農家と参加しない農家が現われ、結果的に生産調整はうまく機能していない。政府は今年産の過剰米を26万tとし、7万1千748haに及ぶ過剰作付があったとし、これが米消費の減少と共に、米価を下げる最大要因だとしています。既に来年の生産目標数量は39

万t減で、作付面積も10万ha減少させることが発表されています。達成状況によっては産地づくり交付金も調整するとしています。生産調整参加農家を裏切らない対策をどのようにすすめるようしているのかお伺いします。

答 本町でも生産調整方針に参加しない農家（現在45人）が増えてきた。このことが米価下落の要因となつていとも言うえる。今後参加の呼びかけを強めたい。産地づくり交付金を活用し、米以上の所得確保に努めたい。有機米の栽培については、現在、生産者は少ないが、販売ルートも検討しながら、20年度からの研究を検討する。

教育関連法の改正と本町教育の方向について

問 教育基本法が60年ぶりに改正され、同時に教

育三法も改正されました。これを受け学習指導要領の改定も進められているようです。

このような教育の根幹が大きく変化する中、本町教育の今後の方向についてお伺いします。

- ① 町の教育振興計画樹立の手順
- ② 県教委の学校マニフエストをどう考えるか
- ③ 今後の委員会運営に対する考え方は

答 10月に青森県東通村の教育環境デザイン、東通21実施計画の策定状況を研修した。これらを参考にし、有識者委員会なども考慮に入れながら振興計画の策定作業をすすめたい。



学校マニフエストについては、まだ県から正式な連絡がない。数値目標を定めることは難しいと思うが、校長と協議し決めた。

地方分権にもあるよう



畠山 菊夫 議員

高度浄水処理施設整備事業について

① 臭素酸と活性炭処理との関係

問 私は、本町の浄水場の源水は臭化物イオン値が高く、オゾンとの接触実験をすべきと云ってききました。オゾン処理をすれば必ず臭素酸（発ガン性物質）が発生します。但し臭素酸は活性炭で基準値以下まで処理できます。しかし、その数値が高ければ、5年での活性

に、今後、委員会の仕事が大幅に増える。あるいは、町民の教育に対する願いを実現するために、委員会での議論を尽くす必要があり、委員会の開催回数も増やす。

炭の再生交換の時期計画が、極端に早くなる事も考えられる。なぜ実証実験が必要なのか、活性炭の交換を5年とした根拠は。

答 実験は必要かと思うが、公共機関にその設備がなく実施していない。臭素酸の生成については、オゾン量を過注入せず、自動制御によって高数値にならないように管理し、活性炭への負担を少なくします。水質によつては活性炭の寿命は異なるが、洗浄設備を設けて能力低下にならないようにし、平均5年を見込んでいます。

② 今の職員数で管理運営できるのか

問 水道会計財政シミュ

レーションの中では、今の職員数で管理運営する計画であると思うが、既存の設備にマイクロストレーナ・オゾン処理槽・活性炭吸着槽それぞれを増設する事により、当然それらに係わる管理作業も増えることとなります。オゾン処理施設運営に係わる、職員の技術習得やオゾン注入設備、機械・電気設備などの日常点検と定期点検、危機管理など職員の作業も多様と思えます。

答 現在の職員数で対応したいと考えているが、たしかに管理作業が増えるので、協業して対処したいと考えている。





三戸 留吉 議員

又、施設稼働前後には、状況を見極めるなどして、

集落営農の今年の結果と未組織地域の今後の進め方について

問 集落営農の今年の結果と未組織地域の今後の進め方について、今年からスタートした集落営農集団が、駆け込みで我が町でも4グループが出来、

あらためて検討する余地があると考えている。

町でも、1グループ10万合わせて40万の予算をつけ、今年はとりあえず例年通りの作付した様ですが、新聞報道では米価低落もあり組織の8割が補助金がなければ赤字だと言われております。やがて5年後には法人化にしようとしておりますが、この様な状況で、来年から未組織地区を含めどの様な指導をし、また来年からも予算化して行く考えがあるか。

答 今年、一日市地区に3グループ、真坂地区に1グループで湖東部地域では面積は一位です。今後、未組織地域においては、農閑期を利用し、組織の誘導に努め、来年も組織が達成すれば助成を考へます。

消費税率一律の引き上げに反対の声を地方から

問 消費税率一律の引き上げに反対の声を地方から

ら、今、政府は社会保障財源として、消費税が重要な役割だと政府税制調査会が取りまとめている様です。都市と地方の所得の格差、外見では見えなものの、貧富の格差、それが我が町の税の未納、不納欠損、国保の滞納が年々ふえているのが現状だと思ひます。また、原油の高騰で、すべての物価の値上げにより農家は資材の反比例に頭の痛い所です。また冬の長い、北東北では6ヶ月もストーブに頼らなければなりません。特に一人暮らし、老人世帯や福祉家庭はたいへんな重圧だと思ひます。それに追い打ちをかけ、毎日の生活の必需品に一律に税を掛けられたらたいへんです。国の無駄遣いをなくし、税の一律値上げのない様、町長も色々な会議の中で反対を望みます。

答 社会保障問題と消費税を別にして、国が工夫して、社会保障財源を確保するべきだと思ひます。



金 一義 議員

高度浄水処理施設の町民説明会の成果をどうとらえているか。

問 アオコ対策として高度浄水の導入の方向で進んでいます。それには高額な「5億2千170万円」の事業費を予定していますが、先月その導入の説明を7会場にて行われましたが、町民の延べ出席者数は90名に満たな

い数でした。今ひとつ町民の理解が得られていないか疑問です。また町民からの多くの質問の中では、委託業者との関係、今後の水道料金が高くなるのでは、また健康被害は等多くの疑問、意見ができましたが、当局の説明がはつきりしませんでした。町ではこの説明会の成果をどのようにとらえているか。

答 少ない参加者でしたが、参加者からは理解得られたと思ひます。又、町広報や折り込みチラシ等で欠席者への周知に努めた。成果として理解を得られた。

ベンチレベルでの基本実験の成果は。

問 このような大きな水処理を設計、設置する場合は、まずベンチレベルでの基本実験を行う必要があるそうですが、実験データを採取した上での本システムを採用しているのか、その実験の結果がこのシステムなのか、

お知らせ下さい。もし実験をしていないのであれば、一気に大きな金額を掛けて建設をしてしまうのは非常に危険だと思ひます。

答 基本実験は、実施していません。東北には公的試験施設はなく、義務化されていない。

水道会計財政収支と新規起債の据え置き期間の利息についてどのように考へているか

問 新規事業費の起債分の支払いは、ただ利息の支払いを5年間として有りますが、この間の利息の金額は約6千万円相当になります。この金額は非常に無駄な金額です。早い時期での元金の支払いは、考へられないのか。

答 事業実施にあたり、自己財源の負担を抑制し、補助及び地方債をもって財源のめあてとするのが一般的である。

この事業の償還システムは、事業債の借入償還は28年。内5年据置。当初から利息の支払いが発生する。

オゾン処理の課題と、各社の技術比較はどのようになっているか

問 オゾンは酸化還元電位も高く理論上ではかなりの効果が期待できますが、また反応効率がランニングコストに大きく影響を及ぼす問題点等があります。オゾン発生装置が各社どのようにコストパフォーマンス面で優れているかを検討することが必要だと思えます。

答 オゾンの空中放散量は、労働安全衛生法に定められた基準値以下の設備である。オゾン漏れ探知機を設け、室内のオゾン濃度を監視するシステムを構築している。

各社の技術システムの比較は、実施していない。

B/Cの値はいくらか。

問 費用対効果(B/C)の値はいくらか。

答 費用対効果分析調査書での費用便益比B/Cは、2・78である。数ヶ月を考えた場合には、1・10と答弁したことがありましたが、今後とも2・78を進める。

マイクロストレーナについての町の認識は。

問 マイクロストレーナの設置が必要とされていますが、まずストレーナの濾過精度が明示されていません。マイクロストレーナは水道機工が導入し実用化したものです。結構修繕費のかかる設備です。また最近の調査では沼津市のマイクロストレーナはギア故障のため現在運転休止中である。当局もどのくらいの知識をお持ちかお知らせ下さい。

町民に疑念のもたれない公平な入札を行うために、公募型の入札制度を考えております。

答 マイクロストレーナは、今の浄水場の様に、アオコを直接濾水として取り入れる構造に適している。除去率は60%〜70%を考えている。設置価格も安い。

委託業者及び見積価格の疑問について

問 普通このようなプラントの設計施工する場合にコンベアあるいは入札をして調査会社を選定するのが筋であります。今回のシステムは特定の業者に依頼したものであることと、その見積価格も疑念をもつものであります。公平な入札をするために、第三者機関に依頼するべきであり、数社の見積もりを参考にすることが一般的であります。今は特定のコンサルに丸投げの状態であります。今後の町の取るべき方法をお知らせください。

自治振興費 さきがけ政経懇談会の項目 支出をなぜ町長交際費より支出したか その理由具体的に



佐藤 長 議員

自治振興費 さきがけ政経懇談会の項目 支出をなぜ町長交際費より支出したか その理由具体的に

問 平成15年議員提案で可決された政務調査費一人年間3万6千、それを再議を請求し、否決した事は充分承知だろう。再度立候補のとき遺恨はあるだろうと云うが反発した議員も含め14人の推薦を受けた「今正しいと思うことやる」と云って議員は議論をつくしたことに遺恨を持つてはいないだろう、それを思う町長はおかしい。そこで18年6月委員長報告で、歳入確保に努め歳出削減を図ること、今年の決算議会で事業の展開と行政の執行にあたっては常に議会に対し早期に事前かつ詳細に説明を行うとともに近年交際費におい

ても町民の疑念をいだかれないうつ特段の配慮を望むとあるが、なぜ有る予算を削減し同額で交際費より出したか。自治令161条の規定により交際費につき月割額を定めて毎月資金前渡することは適切でないといわれている。

東岸堤の整備状況について、県に対し、どのような要請をしているのか

問 平成14年12月、15年8月、16年3月に質問した答弁は県に強く要請し働きかけて行く県と協議を要望する。



答 なし

問 町長は税込2億円もあると云っていた、その後法務省に何回行ったのか。陳情書も出していないが法務省及関係機関に全然お願いがない。町長上京の時日帰りしないで各関係省庁へ願うは当然だろうと思うが。

答 なし

此度土地改良区石川理事長の働きにより国営造成施設管理体整備促進事業(管理体整備型)の予算が県より提出され川口〜三枚橋までの堤防の草刈が実施されたのであります。

この様な国、県、町村負担の項目予算について知っているのか。知らないだろう。

県に要請・要望といっているが何課に何回要請してるか。

答 なし

問 「刑務所の誘致」その後の結果について

各常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

「八郎潟まちづくり人材育成基金条例について」

設置の目的は、人・環境・文化のきらめくまちづくりを目標に活躍する有用な人材の育成を図り、こころ豊かな地域社会の創造に資することを目的とし、八郎潟まちづくり人材育成基金を設置するとしており、対象については、前文に定める目的に従い、八郎潟町の将来に向かって限らない発展を願い、幅広い分野において指導的役割と、こころ豊かで活力ある地域づくりに貢献し、創造性豊かな人材を育成する事業に取り組む分野の個人及び団体としている。

又、町長は、対象に該当する者を審査するため、

自ら委嘱して構成した「審査委員会」を設置し、意見を聞かなければならないと定めている。

当局の説明では、現在有る300万円の積み立て金を、来年度から毎年60万円を目途に取りくずし、助成金交付依頼のあった者の審査をして決定するとしているが、その審査には実施要項にそって慎重審議が必要と思われる。尚、町長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰り戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は、一般会計の歳入歳出予算の定めるところにより歳入に繰り入れて運用することができる。としている。

尚、基金の運営にあたっては、基金の確保に対する努力を求める意見が出された。

民生産業 常任委員会

八郎潟町と五城目町の下水の排除及び処理事務の相互委託に関する協定について

この協定は、八郎潟町と五城目町が行政界を挟んで、入り組んでいる地域（岡本下台や岡本一区、二区及び野田地域）の下水を相互の管渠に流出処理させるため、双方の今後の負担等について、議会の同意を得て協定を締結するものです。

12月定例会に協定内容が初めて示されました。この協定は、下水の相互流出に伴う諸条件について、今後両町が、長年にわたって守らなければならぬ約束ごとを定めるもので、本委員会としては、今後全員協議会で、全体の意見を反映させたい。

がら慎重に検討する必要があるとの判断から、継続審査とすべきものとした。

高度浄水処理整備事業費の予算を計上

国から、11月6日付けで高度浄水処理整備事業に対する内示を得たことから、町では12月定例会に事業執行に要する全体予算を計上した。この事業は、19年度着工、20年度に完了する二カ年継続事業として認定されたものです。

予算内容は、事業費総額（債務負担行為の額）5億2千170万円、19年度事業費2千340万円、20年度事業費4億9千830万円であり、この事業の財源は、企業債と国庫補助金で賄われます。

19年度に実施される主

なもの、実施設計と一部工事などであります。

本委員会としては、来年夏場のアオコ対策にまにあうよう、また、業務遂行上、疑念もたれることないよう十

分配感していただくこととしながら、可決すべきものとした。

1 指定湖沼の指定とその地域

平成19年9月28日 指定湖沼の申出

平成19年11月5日 環境省がパブリックコメントを開始

環境省パブリックコメントの概要

- 八郎湖(八郎潟調整池、東部承水路、西部承水路をいう。)及びその流域を指定湖沼にする。
- 当該地域における汚濁負荷の規制基準に係る項目をCOD、窒素及びりんとする。
- 今後のスケジュール
11月5日～12月4日 パブリックコメント
12月7日 閣議(指定湖沼・指定地域の告示および政令)
12月11日 告示の公示
12月12日 政令公布(即日施行)



指定地域：9市町村 面積約54km²

アオコ問題、内閣総理大臣はじめ 関係行政庁へ「意見書」を提出

アオコ問題について国の支援を求め、12月定例町議会で「八郎湖の水質改善対策の実施に関する意見書」を満場一致で議決し、地方自治法第九十九条の規定により、内閣総理大臣、農林水産大臣、環境大臣など、関係行政庁に12月7日付で送付しました。

「意見書」の提出は、町議会をとして始めての政治活動であります。

八郎湖の水質改善対策の実施に関する意見書

八郎湖は琵琶湖に次ぐ、日本第二の広さを誇る湖として秋田県の沿岸中部に位置し、汽水湖として、透明度の良い、自然の豊かな湖でありました。

しかし、戦後の食糧不足の中で八郎湖は国直轄による干拓事業（昭和32年～昭和52年までの20年間に）が行われ、完全な淡水化が計られ、閉鎖された承水路、調整池はその後、長い年月をかけ流入汚泥が堆積し、窒

11月30日、NHKホールで町村議会議長全国大会が開かれる前日、秋田県町村議会議長と、県選出衆議院、参議院全議員との懇談会の席上、小柳議長が特に発言の機会を得て「意見書」提出の趣旨を訴え、町の要望実現へのご協力を要請しました。今後かねばり強い運動が必要です。

素、リンなどの富栄養化が顕在化し、ここ10年ぐらい前からアオコの発生が見られるようになってきました。

湖の水質は年々悪化の度合いを増しています。国は干拓着手当初、当然、当該地の自然環境を把握し、そして、計画遂行後の環境影響評価（特に水質に与える影響）を行っていませんが、現在このように水質の悪化した状況をどのように把握しているのでしょうか。

八郎潟町は、八郎湖に注ぐ馬場目川の河口から約3km上流から飲料水を取水しています。平成11年以降夏季の雨量の少ないときはアオコの発生が著しく、川を遡上したアオコによって断水を余儀なくされ大問題となっています。このことは本町

にとつて死活問題で、町民の生存権も脅かされる状態です。

- 1、八郎湖の承水路、調整池の汚泥の浚渫事業の実施
- 2、八郎湖に対する新たな導水計画の実施
- 3、アオコ発生に抑制効果のある海水導入開門調査の試験実施
- 4、八郎湖の水質の悪化に伴うアオコの対策を要する自治体に対する災害並み財政支援の実施

湖沼法に基づき、19年12月11日に八郎湖が指定されました。大変喜ばしいことです。ただ、本町の場合、息の長い浄化運動では当面の問題に対する対策にはなりえません。閉鎖された八郎湖の水質を早急に改善するために、国策による具体的な取り組みと支援が必要と考えています。

よって、国においては、次の事項について、是非実現されるよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規程により、意見書を提出する。

平成19年12月7日

秋田県八郎潟町議会議長

小柳 勉

提出先

政府関係
内閣総理大臣
農林水産大臣
環境 大臣
東北農政局長
東北農政局
秋田農政事務所長

国会関係
衆議院議長
参議院議長



■ 請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名	審査委員会	本会議結果
大雨による冠水等農作物被害救済措置に関する要望書	あきた湖東農業協同組合 代表理事組合長 勝田 誠	民生産業	採 択
後期高齢者医療制度に対する広域連合への意見書の提出を要請する陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡 辺 淳	民生産業	不採択
後期高齢者医療制度に対する政府・厚生労働省への意見書の提出を要請する陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡 辺 淳	民生産業	不採択
消費税の引き上げに反対する意見書採択を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 星 野 博 之	総務教育	採 択



議会のうごき

9月30日～10月3日	秋田わか杉国体ウエイトリフティング競技会	19日	例月出納検査
10日	県町村議会議長会総会 (市町村会館)	26日	後期高齢者医療広域連合定例会 (市町村会館)
12日	盆踊り実行委員会反省会 (口マンの里)	27日	議会運営委員会 第4回臨時議会 議会全員協議会 議会広報編集委員会 町村議長と知事との懇談会 (キャッスルホテル)
16日	八郎湖周辺清掃事務組合臨時議会 (男鹿市役所若美庁舎)	11月29日～12月1日	町村議会議長全国大会 東京方面
18日	高齢者福祉大会 (改善センター)	30日	湖東地区行政一部事務組合定例会 (湖東消防本署)
19日	例月出納検査	12月5日～7日	12月定例会
27日～28日	八郎潟町文化祭 (改善センター)	13日	広報編集委員会
11月1日	南秋田郡議長会正副議長・事務局職員合同会議 (井川町)	14日	例月出納検査
2日	町条例による表彰式 (改善センター)	18日	広報編集委員会
6日	金婚式 (改善センター)	20日	八郎潟町、井川町衛生処理組合議会(本町)
7日	後期高齢者医療制度施行説明会 (市町村会館)	25日	大潟地区衛生処理組合議会 (大潟村役場) 八郎湖周辺清掃事務組合議会 (男鹿市役所若美庁舎)
8日	男鹿東部農地防災事業完工式祝賀会 (サン・ルーラル)	15日～16日	町定期監査
9日	南秋連合婦人会研修会 (改善センター)		広報編集委員会
11日	浦城跡地を語る会 (改善センター)		
12日	町村監査委員研修会 (ルポールみずほ)		
13日	後期高齢者医療広域連合全員協議会 (市町村会館)		

編集後記

2006年の優秀賞に続き「あきたふるさと手作りCM大賞2007」での最優秀賞受賞の快挙、おめでとうございます。来月の「東北ふるさとCMフェスティバル・大賞」を期待しています。

最近特に、まちなかを歩く人が少なく感じます。昨年オープンしたハッピーいきいきサロン「まめだがく」・癒しの駅ほつと、それに大道ガレッジや朝市などが、一日市商店街の中の一つのエリアで運営できるなら、町外を含む人の誘導も可能かと思えます。20年度の予算編成では、経費の削減も当然のことながら、同時に福祉、教育、産業それぞれ分野で当局が必要と思う事業は常に考えなければ……。

チャリティブフェスティバル2007の寸劇の場面にもありましたが、原油の高騰により今「灯油難民」と云う言葉を耳にします。穏やかな正月であります様に。